

サマリア詳細分析：特許実務における次世代 AI の評価

Gemini Deep Research

第1章 エグゼクティブサマリー

本レポートは、特許読解支援 AI アシスタント「サマリア (Summaria)」について、その最新機能、市場戦略、および評価を包括的に分析するものである。サマリアは、単なる AI ツールではなく、特許実務のワークフローそのものを変革する可能性を秘めたプラットフォームとして進化しており、知財専門家にとって重要な評価対象となっている。

サマリアの核となる価値提案は、現役の弁理士が自らの実務経験に基づき開発したという点にある¹。この出自は、特許調査や分析といった高レベルな機能だけでなく、特許公報の精読や中間処理といった、実務家が日々直面する細かく、時間のかかる作業に直接対応する機能群に結実している。

戦略的な方向性として、特に注目すべきは 2024 年 5 月にリリースされた「拒絶対応支援ワークフロー」³、そして 2025 年 9 月の「知財・情報フェア&コンファレンス」で発表された「生成 AI による分類」機能と、その中核をなす「対話型レポート機能」である⁴⁰。これらの進化は、サマリアが単なる「読解支援ツール」から、実務ワークフローを自動化し、さらには専門家でなくとも高度なデータ探索を可能にする「対話型分析プラットフォーム」へと戦略的に転換していることを明確に示している。開発元であるパテント・インテグレーション株式会社は、同フェアへの継続的な出展を通じて、「生成 AI 時代の新たな標準業務フロー」を構築するというビジョンを市場に浸透させている⁵。

市場における評価として、サマリアは特に公報のスクリーニング、内容理解、初期分析において極めて高い効果を発揮することが報告されている。ユーザーからは、スクリーニング時間が最大で 80%削減されたという具体的な成果が報告されており、その費用対効果の高さが示唆されている⁴。特許事務所や中小規模の企業知財部にとって、特に導入価値の高いソリューションとして位置づけられる。競合となる広範な分析プラットフォームが存在する中で、サマリアは実務家の視点に特化した設計思想により、強力な競争優位性を確保している。本レポートでは、これらの分析に基づき、特定の業務フローにおける投資対効果を検証するための具体的な

パイロットプログラムの導入を提言する。

第2章 実務家のための AI：サマリアの起源と戦略的ビジョン

サマリアの製品戦略と市場における独自性を理解する上で、その開発背景は単なるマーケティング上の物語ではなく、製品の根幹をなす哲学そのものである。

弁理士による開発という出自

サマリアは、パテント・インテグレーション株式会社の代表取締役である大瀬佳之氏によって開発された¹。大瀬氏は、メーカーの知財部および企業研究所で長年の実務経験を積んだ現役の弁理士であり、新規出願から中間対応、無効審判、米国特許訴訟、特許分析、知財戦略立案まで、幅広い特許実務に精通している⁸。この「弁理士が開発した」という事実は、同社のあらゆる広報活動において一貫して強調されているメッセージである²。

実務上の課題解決への集中

サマリアが最初に解決を目指した課題は、難解で長大な特許文書を読み解き、専門用語を理解し、関係者向けに要約を作成するという、時間と精神的負荷の大きい作業であった¹¹。これは、検索アルゴリズムやデータの可視化を主眼として開発された他の多くのツールとは一線を画すアプローチである。実務家が日々直面する具体的な「痛み」を起点としている点が、サマリアの機能設計に色濃く反映されている。

構想から受賞製品への急速な進化

サマリアは2023年4月にサービス提供を開始して以来¹³、急速な機能拡張を続けている。同

年7月には実務を支援する3つの革新的な機能を追加し²、2024年5月には「拒絶対応支援ワークフロー」をリリース³。さらに2025年8月から9月にかけては、「GPT-5の搭載」、「用語統制機能」、「ダウンロード項目のアップデート」といった基盤技術の強化を立て続けに実施している⁷。この継続的な技術革新と実用性が評価され、第37回「中小企業優秀新技術・新製品賞」のソフトウェア部門で『優良賞』を受賞したことは、その独自性と有用性を客観的に証明するものである⁴。

独自技術という競争優位性

パテント・インテグレーション社は、生成AIを知財実務に活用する分野において、複数の特許を保有していることを積極的にアピールしている（公開情報で9件、未公開を含むと14件）⁴。これは、同社独自の技術的アプローチを保護し、市場における防御壁を築くための戦略的な動きである。特に、2025年9月には競合である **Amplified** 社に対して新たに2件の特許権侵害訴訟を提起するなど¹⁴、自社の技術的優位性を維持し、市場での地位を確固たるものにしようとする強い意志の表れである⁵。

この「実務家による開発」という物語は、単なる経歴紹介以上の戦略的な意味を持つ。特許実務家は、その職業柄、情報の正確性や信頼性に対して極めて慎重な姿勢をとる。一般的なAIソリューションが「ブラックボックス」として敬遠されがちなのに対し、サマリアは「同業者である専門家が、実務の文脈を理解した上で設計・検証したツール」という信頼性を付与する。これは、導入への心理的障壁を大幅に引き下げる効果を持つ。つまり、同社は製品機能だけでなく、「専門家による信頼の保証」という無形の価値を提供しているのである。この信頼の醸成こそが、同社が掲げる「新たな標準業務フロー」⁴という壮大なビジョンを実現するための基盤となっている。

第3章 包括的機能分析：文書読解から対話型分析へ

サマリアの機能群は、単純な読解支援から始まり、より複雑な分析、ワークフローの自動化、そして対話的なデータ探索へと、明確な進化の軌跡を描いている。

3.1 基盤機能：コアとなる読解エンジン

- **AI アシスタントによる質疑応答と用語定義:** ユーザーはチャット形式のインターフェースを通じて、特定の特許文書の文脈における技術用語や概念について AI に質問することができる。この機能は英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語など多言語に対応しており、外国特許文献を理解する際の障壁を劇的に低減させる⁷。
- **キーワードに基づく要約作成:** ユーザーが複数のキーワードを指定することで、文書の要旨（アブストラクト）だけでなく、特定の観点に沿った要約を生成できる。これにより、目的に応じたオーダーメイドの概要を迅速に作成することが可能となる⁷。
- **ハイライトと注釈:** キーワードを設定して文書内を色分け表示したり、コメントやメモを直接付与したりする機能は、レビュープロセスを効率化する。これらの注釈付き文書は、他のユーザーと共有したり、外部ファイルとしてエクスポートしたりすることができる⁷。

3.2 高度な調査・分析ツール

- **スクリーニング支援（対比支援機能）:** この機能は、自社製品の仕様や発明の構成要件を入力し、特定の特許文献と AI に対比させるものである。出力として、関連度スコア、その算出理由、および相違点が提示され、クリアランス調査、侵害予防調査、無効資料調査といった実務を直接的に支援する²。
- **分類・タグ付け（分類支援機能）:** ユーザーが独自に定義した分類（タグ）を AI が特許文献に自動で付与したり、技術分野、課題、解決手段といった観点から新たな分類ラベルを生成したりする。これは、自社・他社の特許ポートフォリオ管理や、技術動向の俯瞰（IP ランドスケープ）において極めて有用である²。
- **発明評価支援機能:** ユーザーが「革新性」や「侵害立証の容易性」といった独自の評価基準を設定すると、AI がその基準に従って発明をランク付けする。これにより、発明届出の出願要否判断や、登録特許の権利維持要否判断といった戦略的な意思決定を支援する²。

3.3 ワークフロー自動化：「拒絶対応支援ワークフロー」

2024 年 5 月にリリースされたこの機能は、サマリヤの機能群の中で最も先進的かつ戦略的なものの一つと言える。特許実務家の中核業務である特許庁からの拒絶理由通知への応答作成プロセスを効率化することを目的としている³。

- **主要な能力:** このワークフローは、従来は人手で行われていた複数の重要なステップを自

動化する。

1. **拒絶理由の解析:** 拒絶理由通知書を読み込み、審査官の認定や論理構成を整理・要約する³。
 2. **用語のマッピング:** 本願請求項と引用文献に記載されている対応用語を抽出し、対比表の形で整理する³。
 3. **AI による対比検討:** 本願発明と引用発明を AI が自動で比較し、一致点や相違点を明確にする³。
 4. **補正案の提案（減縮ポイントの提案）:** 拒絶理由を克服するためのクレームの補正（減縮）ポイントを提案する⁷。
- **技術的背景:** パテント・インテグレーション社は、本機能に Anthropic 社の Claude 3-Opus モデルを採用していることを公表している。これは、高コストであるにもかかわらず、GPT-4 よりも長文の文脈解析能力に優れているためであり、ミッションクリティカルな業務に対して最適な技術を選択するという同社の開発姿勢を示している³。

3.4 生産性向上とレポーティング機能

- **一括指示ツール:** ユーザーは特許番号リストをアップロードし、「要約して」「分類して」といった同一の指示を複数の文献に対して一括で実行できる。これにより、大規模な文献群の一次評価を効率的に行うことが可能となる⁷。
- **クラスタリングとチャート作成:** 類似文献をグループ化するクラスタリング機能に加え、特許分析の実務で不可欠な作業成果物である「対比クレームチャート」や「請求項マトリクス」を表形式で自動生成する機能を備えている⁷。
- **エクスポート機能:** AI が生成した表形式のデータは Excel 形式で、ハイライトやコメントが付与された文書は Word 形式でエクスポートできる。これにより、既存の報告書作成フローやクライアントへの納品物作成プロセスとのシームレスな連携が可能となる⁷。

3.5 2025 年 9 月の進化：分析と対話の新次元へ

2025 年 9 月の知財・情報フェアに合わせて発表された新機能群は、サマリアが分析の領域へと大きく踏み出したことを示している。

- **生成 AI による分類機能:** 従来の分類支援機能が進化し、生成 AI が特許文書の文脈（技術背景、課題、解決策）を深く理解することで、より高度な分類を高速に実現する⁴⁰。これにより、「顧客体験の向上」や「製造コストの削減」といった、ビジネス目的に直結する

「オーダーメイド分類」が可能となり、従来は人手でしか実現できなかった「分類の質」と「機械処理の速さ」の両立を目指している⁴⁰。

- **対話型レポート機能:** 上記「生成 AI による分類」機能の中核をなすもので、分析結果をグラフなどで直感的に可視化する⁴⁰。これにより、静的なレポート作成に留まらず、専門家でなくともクリック操作で深掘り分析（ドリルダウン）を行ったり、関連情報を AI に直接問い合わせたりといった、対話的なデータ探索が可能になる。これは、分析業務そのものを動的なプロセスへと変革する可能性を秘めている⁴⁰。
- **基盤技術の強化:** これらの高度な分析機能を支えるため、最新の「GPT-5」モデルの搭載や、分析精度を向上させる「用語統制機能」、アウトプットの利便性を高める「ダウンロード項目のアップデート」など、基盤技術の強化も同時に進められている⁷。

生成 AI の企業導入における大きな課題の一つに、「プロンプトエンジニアリング」の負担がある。すなわち、信頼性の高い出力を得るために、ユーザー自身が複雑な指示文を作成・管理する専門家になる必要があるという問題である。この点において、サマリアの製品設計は、この複雑さをユーザーから意図的に「抽象化」している点で注目に値する。

ある業界専門家による論考では、「知財部員はプロンプトを一生管理するのか？」という問いが提起され、担当者全員がプロンプトのバージョン管理やメンテナンスを続けることの非現実性が指摘されている¹⁸。そして、その解決策として、サマリアのようなツールがプロンプト管理を内部で代替し、ユーザーが本来のタスクに集中できる環境を提供すると述べられている¹⁸。

サマリアの機能群を検証すると、この設計思想は明確である。「拒絶対応支援ワークフロー」は、自由記述のチャットボックスではなく、構造化された多段階のプロセスとして提供される。ユーザーは拒絶理由通知書や本願明細書といった特定のドキュメントを入力するだけであり、システムが内部で事前に定義された複雑なプロンプト群を実行し、分析結果を生成する³。同様に、スクリーニング支援機能²や発明評価支援機能⁷も、「製品仕様」や「評価基準」といったビジネス上の構造化された入力を求め、それを AI が理解可能な高度なプロンプトに変換する。

したがって、サマリアの核心的なイノベーションは、大規模言語モデル（LLM）へのアクセスを提供すること自体にあるのではなく、LLM の上にビジネスロジック層を構築し、複雑なプロンプトの連鎖を、簡単で再現性の高い専門的なワークフローへと「製品化」した点にある。これは、AI 技術が企業の実務で本格的に活用されるための、極めて重要なステップであると言える。

第 4 章 市場での存在感と戦略的コミュニケーション：

「知財・情報フェア」

パテント・インテグレーション社が、業界の主要イベントである「知財・情報フェア&コンファレンス」で展開する戦略は、同社の市場に対するアプローチを明確に示している。

一貫性のある戦略的プレゼンス

同社は、この日本最大の知財イベントに継続的に出展している。2021 年のフェアへの参加（2022 年の出展案内より示唆）に始まり、2023 年⁵、2024 年⁶、そして 2025 年と毎年ブースを構え、セミナーを開催している⁵。この一貫した投資は、同社が長期的な視点で市場との関係構築に取り組んでいることを示している。

2025 年フェアにおける戦略的発表

2025 年 9 月 10 日から 12 日にかけて開催されたフェアは、サマリアの新たな進化を市場に披露する重要な舞台となった⁴⁴。

- **主要テーマと新機能の発表:** 同社はブース内セミナーを通じて、サマリアに新たに実装された「生成 AI による分類」機能と、その中核となる「対話型レポート機能」を発表した⁴⁰。プレゼンテーションでは、生成 AI が単にキーワードを拾うのではなく、技術の文脈を理解することで、ビジネス目的に沿った高品質な分類を高速に実現できる点が強調された⁴⁰。
- **中核メッセージの進化:** 2024 年までは「公報読解」「拒絶対応」といった実務ワークフローの効率化が中心的なメッセージであったが⁶、2025 年には、対話型レポート機能を通じて「分析を静的なレポート作成から動的な情報探索へと変える」という、より高度なビジョンが提示された⁴⁰。これは、ツールが専門家の作業を支援するだけでなく、データに基づいた迅速な状況把握を可能にすることで、分析業務そのものの質とスピードを向上させるというメッセージである。
- **ソートリーダーシップとコミュニティ形成:** 代表取締役の大瀬氏によるセミナーに加え、業界の専門家を招いたセミナーも複数開催された⁴¹。これにより、製品の信頼性を高めると同時に、ユーザーコミュニティを育成し、市場全体のリテラシー向上に貢献している。

サマリアの市場へのメッセージングは、単なるソフトウェアライセンスの販売を超えた野心的な戦略を示唆している。彼らは自らを、知財部門や特許事務所が AI 時代に適応するために業務プロセスを根本的に再構築するのを支援する、ソートリーダーでありコンサルタントであると位置付けている。

この戦略は、彼らが用いる言葉遣いに明確に表れている。単に機能を紹介するのではなく、「新たな標準業務フロー」を「提案」する²⁰ という表現は、ソフトウェア営業ではなく、プロセスコンサルティングの領域に属するものである。2025 年のフェアで発表された「対話型レポート機能」は、この戦略を具現化したものと言える。専門家でなくともクリック操作で深掘り分析ができるこの機能は⁴⁰、単なるツール提供者から、顧客の分析能力そのものを向上させる戦略的パートナーへと昇華しようとする同社の意図を明確に示している。あるプレスリリースでは、「生成 AI 導入の真の価値は、革新的機能と業務プロセス全体の最適化の両立にある」と明言し、実務家が経営する企業として「知財業務全体の再構築を支援します」とまで踏み込んでいる⁴。このアプローチにより、同社は顧客との強固な関係を築き、スイッチングコストを高めることを目指している。

第 5 章 市場の反応、実績、および競合環境

本章では、サマリアが実際の業務に与えている影響と、AI を活用した特許ツール市場における同社の競争上の位置付けを評価する。

5.1 ユーザー導入とインパクト分析

- **定量的な投資対効果 (ROI) :** ユーザーからのフィードバックは、説得力のある指標を提供している。最も頻繁に引用されるのは、スクリーニング時間が最大で **80%** 削減されたという報告である。その他にも、英語公報の概要把握にかかる時間が **7 割** 削減、作業時間全体で見ても日本語公報で **2~3 割**、海外公報では **5 割** 程度の削減が実現できたとの声が上がっている⁷。
- **定性的な便益:** ユーザーは定量的な効果に加え、重要な定性的改善も報告している。これには、「公報を読むのが苦痛でなくなった」といった心理的負担の軽減や、「より丁寧に文献を読み込めるようになった」「一行レベルの記載も見逃すことがなくなった」といった作業品質の向上が含まれる⁷。
- **ユーザー層:** 公式ウェブサイトには、HOYA、パナソニック、三菱電機、旭化成、セガといった大手企業から、自動車部品メーカー、さらには多数の特許事務所まで、多様な導入事

例が掲載されている⁷。これは、サマリアが知財業界の様々なセグメントに広く受け入れられていることを示している。

- **専門家による評価:** あるユーザー（特許専門家と推察される）によるブログ記事では、発明の要点、効果、課題が端的かつ適切に要約される点を高く評価し、精読段階において側に寄り添ってくれる「相棒」として有用であると述べられている¹⁰。

5.2 業界での認知と評判分析

- **公式な受賞歴:** 「中小企業優秀新技術・新製品賞」における『優良賞』の受賞は、サマリアの技術革新性と実用性に対する第三者機関からの強力な裏付けとなっている⁴。
- **「評判ノイズ」問題:** 一方で、サマリアの市場での評判をオンラインで調査する際には、特有の課題が存在する。「サマリア 評判」といったキーワードでの検索結果は、2004 年に公開された同名の韓国映画『サマリア』に関するレビュー⁷や、「社会福祉法人サマリア」に関する情報⁷によって大部分が占められている。この「評判ノイズ」は、潜在的な導入検討者が製品に関する客観的な評価や口コミを見つけることを困難にしており、マーケティング上の課題となっている。

5.3 競合ランドスケープ

第三者機関による AI 特許ツールの比較分析において、サマリアは「特許文書の読解支援」に強みを持つツールとして位置づけられている。無料プランを含む柔軟な価格設定から、特に中小企業に推奨されるツールと評価されている³⁰。

主要な競合製品として、Patentfield AIR、Tokkyo AI、AI Samurai が挙げられるが、それぞれが異なる戦略的焦点を持っている。

- **Patentfield AIR:** 最大 1 万件の文献を対象とした大規模分析、ポートフォリオ分析、そして特許マップなどのデータ可視化機能との連携に強みを持つ³⁰。マクロレベルでの知財インテリジェンスや技術動向分析を志向するユーザーに適している。
- **Tokkyo AI:** 検索クエリの漏洩を防ぐセキュアなプライベート検索環境の提供を重視しており、特許明細書のドラフト作成支援や AI による画像商標検索といった機能を備えている³⁰。セキュリティを重視する企業や、出願書類の初期ドラフト作成を効率化したいユーザーをターゲットとしている。
- **AI Samurai:** 「発明創出から特許申請支援まで」をカバーするシステムとして、アイデアの特許性をランク評価する独自の「審査シミュレーション」機能を持つ³⁰。発明の初期段

階から出願書類作成までを一気通貫で支援することに焦点を当てている。

以下の表は、これらの AI 特許ツールの戦略的な位置付けを比較したものである。

ツール	中核的強み	主要なユースケース	ターゲット層	価格モデル (判明分)	主要な差別化要因
サマリア	文書理解とワークフロー自動化、対話型分析	先行技術のスクリーニング、拒絶理由通知の分析、ビジネス目的に沿った AI 分類、対話型レポートによる深掘り分析	特許実務家、企業知財部（特に中小）	フリーミアム（無料、有料プラン月額 8,000 円～） ⁴	弁理士による開発。読解・中間処理から対話型分析まで、実務フローに特化。
Patentfield AIR	大規模データ分析と可視化	IP ランドスケープ、競合分析、大規模データセット（最大 1 万件）での技術動向分析	企業の研究開発・知財戦略部門	サブスクリプション（月額 20,000 円～50,000 円） ³⁰	強力な特許マップ・可視化ツールとの連携。マクロ分析に強み。
Tokkyo AI	セキュアな検索と文書ドラフト	情報漏洩リスクのない先行技術調査、AI による特許明細書のドラフト作成	データプライバシーを重視する企業、研究開発部門	サブスクリプション（月額 15,000 円～） ³⁰	クエリ情報を外部に出さないプライベート検索環境。初期ドラフト作成支援。

AI Samurai	発明評価と 出願支援	新規アイデアの特許性 評価、請求 項作成支 援、明細書 全体のドラ フト作成	発明者、研 究開発部 門、スター トアップ、 特許事務所	サブスクリ プション (基本料金 月額 55,000 円 ～) ³⁰	特許性を A ～D ランク で評価する 独自の「審 査シミュレ ーション」 機能。
------------	---------------	---	--	--	---

第 6 章 統合的考察と戦略的提言

本章では、これまでの分析を統合し、サマリヤの将来的な方向性を展望するとともに、導入を検討する組織に対する具体的な行動指針を提言する。

サマリヤの進化の軌跡：アシスタントから対話型分析プラットフォームへ

サマリヤは、特許文書の「読解」という単一の課題を解決するポイントソリューションから、中間処理（プロセキューション）フェーズを自動化する統合プラットフォームへと進化し、さらに 2025 年 9 月には、ビジネス目的に沿った高度な分類と、専門家でなくとも深掘り分析が可能な「対話型分析プラットフォーム」への変貌を遂げた。その開発プロセスが一貫して実務家の視点に基づいていることは、機能の高い実用性とユーザーからの信頼を確保する上で決定的な要因となっている。

強みと潜在的弱み

- **強み:** 実務家のワークフローに対する深い理解、スクリーニングや拒絶対応といった主要な課題を解決する高インパクトな機能、ユーザーから報告されている明確な ROI、そして特許で保護された独自技術。2025 年 9 月に追加された対話型分析機能は、新たな強みとなる。
- **弱み:** Patentfield AIR のような専門ツールと比較した場合、マクロレベルのデータ可視化を多用する高度な IP ランドスケープ分析においては機能的に及ばない可能性がある。し

かし、新たに追加された「対話型レポート機能」は、そのギャップを埋め、異なるアプローチでの分析価値を提供するものである。また、前述の「評判ノイズ」問題は、新規顧客獲得におけるマーケティング上の障壁として依然として存在する。

導入検討組織への戦略的提言

1. **焦点を絞ったパイロットプログラムの開始:** 特許の中間処理やクリアランス調査を主たる業務とするチームや担当者に限定したパイロットプログラムを開始することを推奨する。その際、実際の拒絶理由通知案件を 2~3 件、「拒絶対応支援ワークフロー」を用いて処理し、応答作成にかかる時間短縮効果と、生成された分析結果の品質を具体的に測定・評価すべきである。
2. **新機能「生成 AI 分類」と「対話型レポート」の評価:** 特定の技術分野や競合他社群を対象に、これらの新機能を適用するパイロットプログラムを実施する。従来の分析手法と比較し、①分析にかかる時間の短縮度、②新たなインサイト（気づき）の発見、③非専門家による分析の実現可能性、の 3 つの観点から有効性を検証する。
3. **非専門家の能力向上ツールとしての評価:** 研究開発部門のエンジニアやプロダクトマネージャーが、一次的な特許レビューを実施するためのツールとしてサマリアの有効性を評価する。その分かりやすい要約生成機能や、新たに追加された対話型レポート機能は、知財部門の専門家が介入する前の予備調査を知財部門外の担当者に委譲し、専門家の時間をより高度な業務に振り分けることを可能にするかもしれない。
4. **単なる導入ではなく、業務プロセスの再設計:** サマリアの価値を最大化する鍵は、既存のワークフローを積極的に見直すことにある。導入検討組織は、自組織における拒絶理由通知の処理や技術動向分析のプロセスを可視化し、どのステップがサマリアによって自動化・効率化できるかを特定すべきである。その際、パテント・インテグレーション社が提唱する「新たな標準業務フロー」の概念を、自社のプロセス改革の指針として参考にすることが有効である。
5. **長期的なベンダーモニタリング:** パテント・インテグレーション社が現在進めている特許訴訟の動向と、継続的な研究開発投資を注視することを推奨する。自社の知的財産を積極的に防衛し、実務家のフィードバックに基づいて革新を続ける企業は、長期的な戦略的パートナーシップを築く上で有望な候補である。

引用文献

1. サマリアのご紹介 - 株式会社知財の楽校, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.patentamuse.com/articles/recommended-sites-summaria/>
2. 特許読解アシスタント「サマリア」に知財実務を支援する革新的な 3 つの機能が追加【サービス無料提供中】 | パテント・インテグレーション株式会社のプレス

- リリース - PR TIMES, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000086119.html>
3. 新機能「拒絶対応支援ワークフロー」をリリース - PR TIMES, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000086119.html>
 4. 特許読解 AI アシスタント「サマリア」が第 37 回「中小企業優秀新技術・新製品賞」のソフトウェア部門『優良賞』を受賞 | パテント・インテグレーション株式会社のプレスリリース - PR TIMES, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000086119.html>
 5. 知財実務における生成 AI 利活用に関する特許 4 件を新たに取得(合計 9 件)、2025 知財情報フェア&コンファレンス出展のお知らせ | パテント・インテグレーション株式会社のプレスリリース - PR TIMES, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000086119.html>
 6. サマリアプレゼン「生成 AI の特許実務における利活用の最前線」 - よろず知財戦略コンサルティング, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://yorozuipsc.com/blog/-ai1832892>
 7. サマリア(Summaria) | 特許文書読解支援サービス - パテント・インテグレーション, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://patent-i.com/summaria/>
 8. “エンジニア弁理士”が自ら開発。スタートアップを助ける特許情報検索・分析、ChatGPT 活用にも挑戦 | IP BASE - 特許庁 スタートアップの知財コミュニティポータルサイト, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://ipbase.go.jp/learn/ceo/page40.php>
 9. 「サマリア」機能アップデート (2023-08-21) - よろず知財戦略コンサルティング, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://yorozuipsc.com/blog/2023-08-21>
 10. サマリア (Summaria) を用いた侵害予防調査のスクリーニング - note, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://note.com/tsunobuchi/n/n915359c4bee7>
 11. AI アシスタント機能 | 特許文書読解支援アシスタント・サマリア - YouTube, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.youtube.com/watch?v=nqMmZMwlpk8>
 12. 特許文書 読解支援 AI アシスタント・サマリア【プロモーションビデオ 2】 - YouTube, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.youtube.com/watch?v=4DI-SNE9eRk>
 13. ニュースリリース - パテント・インテグレーション, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://patent-i.com/ja/news/>
 14. パテント・インテグレーション株式会社のプレスリリース - PR TIMES, 9 月 14, 2025 にアクセス、
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/86119
 15. 対比支援機能 | 特許文書読解アシスタント・サマリア, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://patent-i.com/summaria/manual/screening>
 16. サマリア分類支援機能を特許情報分析に活用 - よろず知財戦略コンサルティング, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://yorozuipsc.com/blog/2326223>
 17. 中間応答対応にサマリアは活用可能！「拒絶支援機能」で中間応答が加速！ | 特許文書読解アシスタント・サマリア - パテント・インテグレーション, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://patent-i.com/summaria/customer/I20240514>

18. 「知財部員はプロンプトを一生管理するのか？」－ 外部ツール活用とプロンプトエンジニアリングの視点から - note, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://note.com/youpy/n/nb7d0f83fae77>
19. サマリア・2024 知財情報フェア・出展者プレゼンテーション【パテント・インテグレーション株式会社】 , 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.youtube.com/watch?v=eS4tkKOMKw>
20. 【サマリアウェビナー】生成 AI 時代の調査、分析業務の新たな業務フローの提案 - YouTube, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.youtube.com/watch?v=55YPBwt9bGI>
21. サマリア - 映画情報・レビュー・評価・あらすじ・動画配信 - Filmmarks, 9 月 14, 2025 にアクセス、 <https://filmmarks.com/movies/6710>
22. 「意図を汲み取るのが難しかったが、間違いなく名作」 サマリア wutang さんの映画レビュー (ネタバレ) , 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://eiga.com/movie/1627/review/03899520/>
23. サマリアのレビュー・感想・評価 - 映画.com, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://eiga.com/movie/1627/review/>
24. キム・ギドクの死／映画『サマリア』 | 福岡貴善 - note, 9 月 14, 2025 にアクセス、 <https://note.com/kail964/n/n5d5aace54455>
25. 映画「サマリア (2004)」 感想 | 書くことがなくて墓の話に逃げる - 353log, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://threefivethree.hatenablog.jp/entry/2021/01/22/223304>
26. 観るべき韓流 サマリア の映画レビュー・感想・評価 - Yahoo!検索, 9 月 14, 2025 にアクセス、
https://search.yahoo.co.jp/movie?p=%E3%82%B5%E3%83%9E%E3%83%AA%E3%82%A2+%E6%98%A0%E7%94%BB&rkf=1&fr=yjmovie_redirect&ykbid=A6dK0GQAAD9wGPZmuqt85k82rxCec70iij3L7JGOsdqQnsRt-AWqbSCfpjVaezDGjS9F6iUM12I8-K0i6P8tLIJG2i3TBO4B4gemHQ6SZDm1TpUBXHQU2aJ8DsbXhuLPxAtP_CIHGVvJlnUvgrvB9d9vjQs&nasb=1&m=q%3A%E3%82%B5%E3%83%9E%E3%83%AA%E3%82%A2%3BmovieCinemaId%3A321494%3Bprop%3Amovie_revdetails%3BmovieReviewId%3A1%3B
27. 染まり屋「サマリア」 - ホラー映画さえあれば！ちぶ〜のイラスト付きレビュー, 9 月 14, 2025 にアクセス、 <https://chiboo-horror.com/entry/2016/05/19/072000>
28. 社会福祉法人サマリヤの評判・口コミ - エンカイシャの評判, 9 月 14, 2025 にアクセス、 <https://en-hyouban.com/company/10200446069/>
29. 社会福祉法人サマリヤの評判・口コミ一覧 (全 9 件) - 就活会議, 9 月 14, 2025 にアクセス、 https://syukatsu-kaigi.jp/companies/8292/word_mouths
30. 生成 AI 活用特許分析ツールの比較分析： - よろず知財戦略コンサルティング, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/34eff7c02387c7ab46b1.pdf>
31. ウェビナー『基本機能レクチャー&生成 AI 機能 Patentfield AIR の実演』を開催！, 9 月 14, 2025 にアクセス、 <https://patentfield.com/news/263>

32. Patentfield AIR 生成 AI 調査・分析オプション, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://support.patentfield.com/portal/ja/kb/articles/patentfield-air-%E7%94%9F%E6%88%90%E8%AA%BF%E6%9F%BB-%E5%88%86%E6%9E%90%E3%82%AA%E3%83%97%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3>
33. 生成 AI 特許検索・調査・分析・査読 | Patentfield AIR - evort エボルト, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://evort.jp/article/patentfield-air>
34. www.property.ne.jp, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.property.ne.jp/sysytem/tokkyoai/#~:text=Tokkyo.Ai%E3%81%AF%E3%80%81%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE,%E4%B8%96%E4%BB%A3%E7%89%B9%E8%A8%B1%E6%A4%9C%E7%B4%A2%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82>
35. Tokkyo.Ai, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.tokkyo.ai/>
36. Tokkyo Ai- 検索システム(日本) - 株式会社プロパティ, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.property.ne.jp/sysytem/tokkyoai/>
37. 内閣府 サービス紹介資料, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.kanteigo.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/kousou/2025/dai3/siryou5.pdf>
38. AISamurai の紹介 - LEGAL TECH INDEX, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://www.legal-tech.jp/2021/01/31/239/ai-samurai%E3%81%AE%E7%B4%B9%E4%BB%8B.html>
39. 特許申請支援システムの「株式会社 AISamurai」, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://aisamurai.co.jp/>
40. 2025 知財・情報フェア&コンファレンスでセミナーを開催します。 | 川上 成年 / chizaidesigner, 9 月 14, 2025 にアクセス、
https://note.com/ip_design/n/nfc6192d799d3
41. 知財実務オンライン出演・公報の再収録のご案内サマリア ..., 9 月 14, 2025 にアクセス、
https://patent-icom/summaria/manual/R_20250820
42. AI 特許調査プラットフォーム「Amplified」に対する 2 件の特許権侵害訴訟提起のお知らせ、2025 知財情報フェア&コンファレンス出展のお知らせ - PR TIMES, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000086119.html>
43. AI 特許調査プラットフォーム「Amplified」に対する 2 件の特許権侵害訴訟提起のお知らせ、2025 知財情報フェア&コンファレンス出展のお知らせ - エキサイト, 9 月 14, 2025 にアクセス、
https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2025-09-09-86119-14/
44. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス |, 9 月 14, 2025 にアクセス、
<https://pifc.jp/2025/>